



ほしぞら通信

2023年
09月号

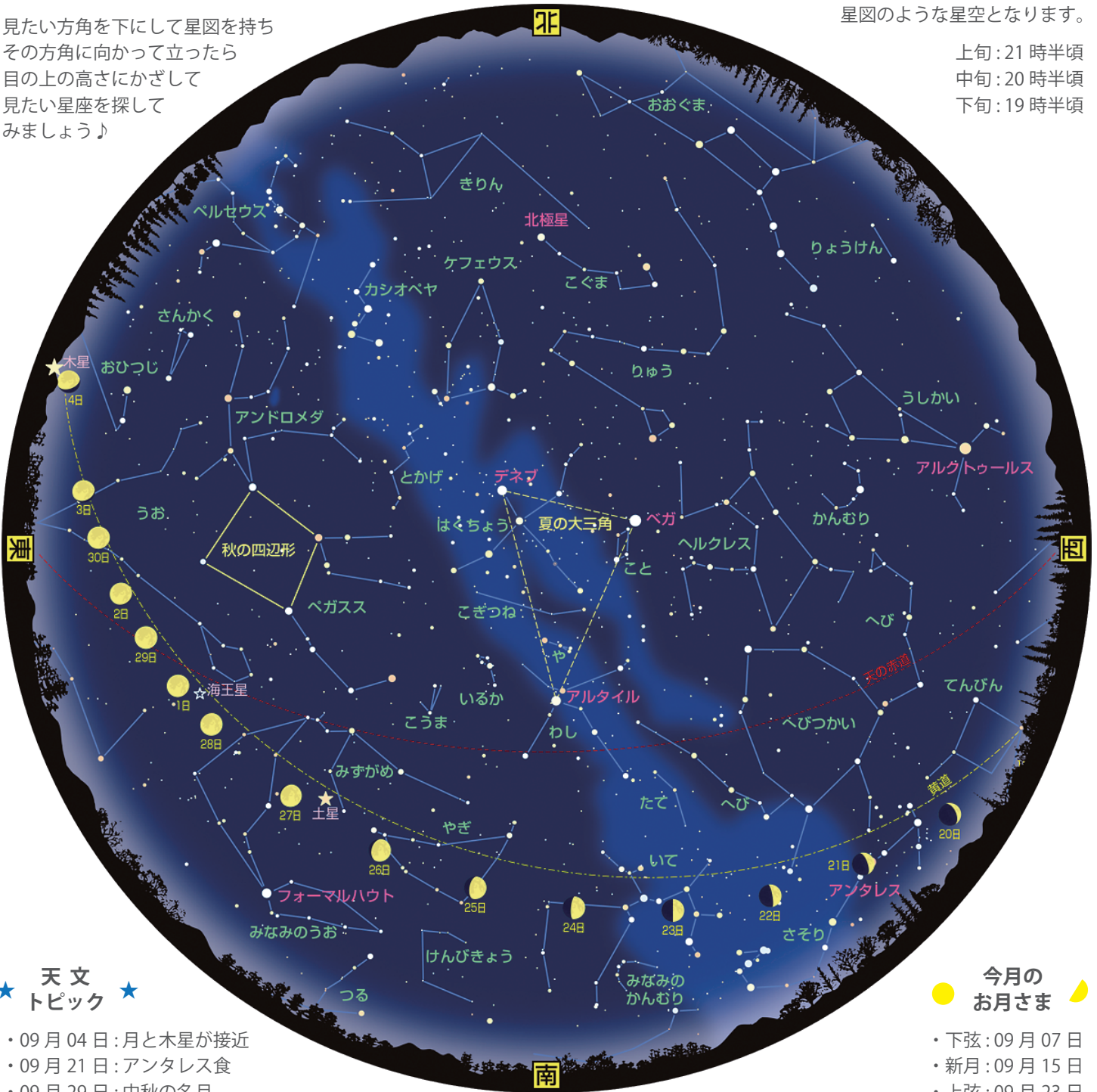


● 星図資料提供 : アストロアーツ

見たい方角を下にして星図を持ち
その方角に向かって立ったら
目の上の高さにかざして
見たい星座を探して
みましょう♪

福岡ではおおよそ以下の時間に
星図のような星空となります。

上旬 : 21 時半頃
中旬 : 20 時半頃
下旬 : 19 時半頃



★ 天文 トピック ★

- ・ 09 月 04 日 : 月と木星が接近
- ・ 09 月 21 日 : アンタレス食
- ・ 09 月 29 日 : 中秋の名月

● 今月の お月さま ●

- ・ 下弦 : 09 月 07 日
- ・ 新月 : 09 月 15 日
- ・ 上弦 : 09 月 23 日
- ・ 満月 : 09 月 29 日

【09 月の満月】 ハーベストムーン 収穫月

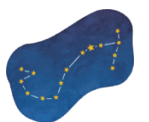
★★ 星の歳時記 ★★

残暑の続く9月。星空の主演はまだ、「夏の大三角」をはじめとする天の川の周りの星たちで、楽しかった夏休みのあるところと一見あまり変わりがないように感じます。

地球の北半球に住む私たちの星空は、「天の北極」を示す北極星を中心に巡る北側の星たちが中心で、8月の宵の空の一番高いところにある「こと座」のアルファ星ベガであっても、どちらかという北極側の星だと言えます。

北極側の星たちは、このベガのように空のてっぺんである「天頂」の近くを通過できるので、見上げるくらいの高さにある期間が長くて探しやすいのですが、「天の南極」に近い南側の空の星たちは足早に駆け抜けていくんです。

夏の星座で人気の「さそり座」は7月の宵の南の空で一番高く輝きますが、8月の同じ時刻にはずいぶん西側に傾き、9月にはもう山の向こうに沈もうとしています。同じ夏の星座の「はくちょう座」がクリスマス近くまで西の空にあるのと比べると、ずいぶん見ごろが短いのがわかりますね。



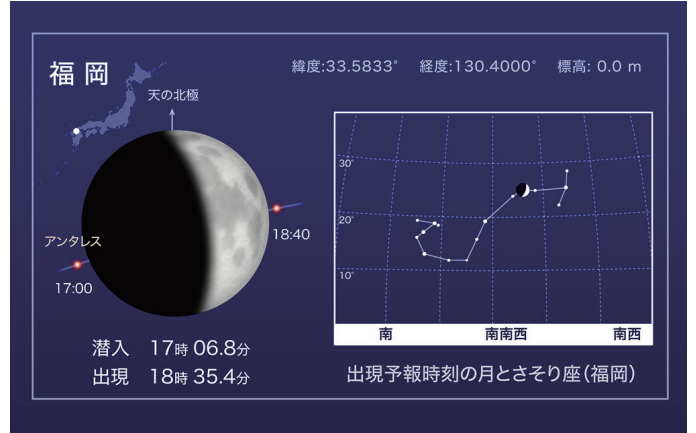
見るなら
今でしょ!!

季節は秋に移っていますが、しばらくの間、夏の星座を見ることができます。そんな夏の星座の代表「さそり座」の一等星「アンタレス」が、9月21日の木曜日、夕方の南西の空で「月に隠される（食）」という現象が起こります。
月は地球の周りを回っているの、夜空を西から東へと動いています。

この時の月は月齢6.7（半月の少し前）、アンタレスは月の東側の暗い方から隠されて（潜入）、西側の明るい方から出てきます（出現）。

潜入の時刻は午後5時7分。この日の日没は午後6時18分なので、太陽が沈む前の明るい空で起こります。そのため、目で見るとは難しく望遠鏡が必要になります。望遠鏡は、いとしま天文台の工作講座で作った望遠鏡も使えます。

潜入時刻の少し前に、目印となる月に望遠鏡を向けましょう。月の暗い方のすぐそばにアンタレスを見つけることができます。潜入の時刻を迎えると、アンタレスの光は見えなくなります。月に隠された瞬間です。



資料参照：国立天文台

出現の時刻は午後6時35分。既に太陽は沈んでいますが、まだ空は明るい状態なので、やはり望遠鏡が必要となります。季節の変わり目の天体ショー、ぜひチャレンジしてみませんか？

ところで、絶対に太陽は見てはいけませんよ。

星乃よもやまばなし

『ジグザグ？ギザギザ？』

7月から2月くらいにかけて見ることの出来る星座があります。この星座は夏から秋にかけて見やすい位置にあり、アンドロメダ座とはくちょう座の間、天の川の中にあります。

その星座の名前は「とかげ座」です。このとかげ座、目立って明るい星がある訳ではありませんが、そのジグザグというのかギザギザというのか…そんな特徴的な形をしているので案外見つけやすい星座です。

17世紀に見つけられた新しい星座なので神話はありません(^^)；

いもり座と表記されていた事もあるようなので、この星座を見つけた天文学者ヨハネス・ヘヴェリウスはこの形からトカゲやイモリを想像したんでしょうね…

星座絵ではしっぽを丸めたとかげが描かれています。

さて、そんな風に見えますか？ぜひ探してみてください(^^)

ヒトリゴト

今から50年くらい前の糸島の話です。

その頃の糸島は街灯も少なく、夜は足下も不安なくらい真っ暗でしたが、家を一歩出ればいつでも満天の星を眺めることができました。

忘れられないのが、小学生の夏、学校で「お泊まり」が催された夜。夕立がやんだ後のものすごく澄んだ空。漆黒の夜空には全ての星が美しく輝き、夏の天の川が雄大に流れていました。星を勉強していた私でも、「どれが1等星なのか分からないほど」でした。

まさに満天の星、いまだにこの時以上に美しい夜空を見たことはありません。

今の糸島は、夜も明るく便利、安全な街になりました。反面、残念ながらあの頃のような夜空を見ることはできません。いつの日か街と自然が共存して、美しい夜空が戻ってくることを願うばかりです。P.N. はしのたもと

いとゴマークの「天文台号」が目印ですよ~♪

定例観望会開催のお知らせ

開催予定日 <<要予約>>
09月09日(土)・10月21日(土)

開催場所
志摩中央公園グラウンド(糸島市志摩初)

※ 雨・天候不良時は中止となります。
当日の天候によって開催状況が変わる可能性があるため、当日17時までにホームページ・Instagram・Facebookでお知らせします。確認いただき、ご来場をお願いします。

お問い合わせ・お申し込み

● 平日 (08:30~17:15) ● ● 観望会当日 (14:00~21:00) ●

糸島市生涯学習課 星空ナビゲーター携帯
092-332-2092 080-8050-8609
↑ご予約はこちらへ ↑当日問い合わせはこちらへ↑

こちらで情報を発信しております。何かお問い合わせがありましたら、メッセージ等でお問い合わせください。

ホームページ Instagram Facebook

いとしま天文台 検索 ITOSHIMA.TENMONDAI いとしま天文台

★編集後記★ 秋といえば、やっぱり名月ですね(^o^)/ 今年の中秋の名月は9月29日。お月見団子を用意して、のんびりと夜空に綺麗に浮かんだ月を見上げましょう。中国では中秋節と呼ばれ、家族や親しい友人を招き、月餅を食べ月を見るという風習があるそうです。以前食べた月餅がすごく美味しくて、いつか自分でも作ってみたいなどと思い、数年前に月餅型を買ってみたのですが…なかなか登場の機会がなく(^^;;今年秋こそは月餅つくってみようかなd(^^_o)